



関ロータリークラブ

URL <http://www.seki-rc.org/> E.mail [seki-rc@abelia.ocn.ne.jp](mailto:seki-rc@abelia.ocn.ne.jp)  
TEL (0575)22-9332 FAX(0575)22-9977

RID2630 ROTARY CLUB OF SEKI ■会長 今峰 徹 ■副会長 大澤竜一 ■幹事 池村真一郎



2016~17 年度国際ロータリーテーマ  
「人類に奉仕するロータリー」 ROTARY SERVING HUMANITY  
RI 会長 ジョンF・ジャーム  
2016~17 年度 関ロータリークラブテーマ  
「おもいやり」 第51代会長 今峰徹

第 2452 号

平成 29 年 3 月 7 日 (火)

**前例会の記録・第 2451 回 2 月 28 日(火)12:30**

- 「消防よもやま話」
- 中濃消防組合 関消防署長 藤田哲也様
- ◆開会点鐘
- ◆「四つのテスト」斉唱
- ◆会長挨拶



皆様こんにちは。  
きょうは、関消防署長の藤田様に卓話をお願いいたします。関消防署長として、日夜関市民のため、火災・災害時には危険を顧みず奉仕をしていただいていることには頭が下がります。私個人的にも患者搬送で大変お世話になり感謝いたしております。今日は、その日々の裏のご

苦勞もお伺いできるかと思いき楽しみにしております。よろしくお願ひいたします。

- ◆委員会報告
- ◎出席委員会 委員長 西本理美  
会員 44 名中 出席 27 名 出席率 64.29%
- ◎ニコボックス委員会 委員長 林昇

会長・副会長・幹事の皆さん・・・本日のお客様は、中濃消防本部 関消防署長 藤田哲也様です。お忙しい中、お越しいただきまして、まことにありがとうございます。本日は「消防よもやま話」という題目でお話をいただきます。お話を楽しみにしておりますので本日はよろしくお願ひ申し上げます。

長尾、加藤(浩)、後藤、林(昇)、大岩、加藤(照)岩倉の皆さん・・・中濃消防本部 関消防署長 藤田哲也様本日は、ご多忙のところ、関 RC の卓話を快くお引き受けいただきありがとうございます。体を張ったお仕事での、よもやま話楽しみにしています。よろ

しくお願ひします。卓話よろしくお願ひします。  
東谷、清水(善)、後藤、大岩、土屋、酒向(徳)、岩倉、岩本の皆さん・・・2/21のIGMでは、美味しいお料理と熱の入った意見がかわされ、大変有意義でした。ホストの掛布さんありがとうございました。  
◆IGMの報告 報告者 岩本雅文  
日時：2月21日(火)18:30～ 場所：丸吉寿司  
ホスト：掛布真代 ロータリー情報：清水善光  
リーダー：東谷好司 義務出席者：大岩寿喜子  
酒向徳享、岩本雅文  
特別出席者：後藤信介、土屋佳久、岩倉宏幸



9名の参加、フリードリンクで行われました。ホストの掛布さん有難うございました。さて当年1月より末席に入れてもらい、まだ右も左もわからない状態で、参加をさせていただきました。まず、リーダーの東谷さんから議題として「関ロータリーのこれまでと50周年を迎えるに当たり、その次の動向をどう考えるか」

由の問いかけがあり意見が交わされました。ロータリー情報の清水善光さんから「50周年事業に関しては、順調に進んでおります。50年から60年に向かっての有意義な意見が出され生かされるようなIGMにしていきたい。」次期会長後藤さんから「関ロータリーの現状を踏まえ、存続と意義を両立させていくために過去にとられない勧誘や中身の充実を模索していく必要があ

る。」土屋さんから「様々な環境の変化を認識し、味

付けの違った進め方も考えるべき。」皆さんから「クラブの中の実力者と言えばやはり、職の経験者であり50周年の礎を築いてきた方々。今一度力を借りることも必要。再入会という方法はどうか。」などなど、様々な意見が出ました。有意義な時間を過ごさせていただき、1日が充実しておりました。有難うございました。

### ◆「消防よもやま話」

中濃消防組合 関消防署長 藤田哲也様



本日は、関ロータリークラブでお話をさせていただく機会をいただき、大変光栄に思っております。

また、今峰会長さんをはじめ、会員の皆様には日頃より消防行政各般に渡り、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。本日は、堅苦しいお話ではなく、やんわりと「消防よもやま話」ということで、消防

という職場の中でのこぼれ話や世間話をお話させていただきますので、よろしくお願い致します。

さて、私がこの消防という世界に入って驚いたのは、必ず全員が受けなければならない初任教育と言われる岐阜県消防学校での教育です。消防に関する座学や訓練の他、連帯責任や挨拶から食事、入浴、掃除、頭髮の手入れなどの日常生活まで教育され、これが6ヶ月間続き心身ともに鍛えられます。そして、今ではその後救急科という教育が2ヶ月間行われ、やっと一人前の消防士として所属の消防本部へ戻って来るまでには、現地研修も含め通算で約10ヶ月かかります。

消防学校入校中は、職員は全員が「〇〇学生」と呼ばれ、教官の言う事が全てで、何かのミスが有るたびに罰直があり、更には情操教育と称した草挽きや掃除など、といった具合で、とにかく厳しい生活でした。

そして、この教育期間中が消防署にとって踏ん張りどころとなります。たとえば8人の退職者にあわせて8人を採用します。ところが、先ほどお話ししましたとおり、約10ヶ月後にしか消防署には配属されませんので、結局、その間は8名の欠員で業務をこなすという事になります。

消防署には本当に多くの職員がいるように思われがちですが、常時、勤務できるのは全体の3分の1くらいです。24時間勤務の2交替制であることや、皆さんで言う土曜日や日曜日、祝祭日分を振り分けて順番に休んでいくと3分の1くらいになってしまうという事です。

また、病気や冠婚葬祭、消防学校や消防大学校への入校、救急救命士の研修、その他の一般研修も入ってきますので、本当にやり繰りが大変です。さて、消防署へ配属後は、当然24時間勤務が原則なので、今までの生活もがらりと変わります。

職場では、入浴中やトイレ中、そして仮眠中？緊急出動など、思いもよらぬ、笑えるような問題も起こります。

ここまで消防署の生活をメインにお話をさせてい

ただきましたが、緊急出動についても少しお話させていただきます。

関市と美濃市を管轄に持っております中濃消防組合の私が採用された昭和56年頃の年間の火災件数は、今とさほど変わらない40~70件前後でしたが、救急件数は約1600件が、今では2.5倍の約4000件となっています。

また、この救急件数については平成25年から4年連続で4000件を超えるという状態です。しかし、この中には、まだまだタクシー代わりの利用も多いようで、本当に困ったものです。

昔は、火災でも救急でも感謝されることの方が多かった訳ですが、今では悲しいかな、非難されたり苦情も少なくないです。

さて、火災の時に困る事ですが、大きく燃え上がっていると、近所の人や通りがかりの人が、「こんなに燃えているから、誰かが119番しただろう」と思い込み、通報してこなかったり、通報が遅れてしまうことがあります。そして、もうひとつ困るのは、地元の人以外からの携帯119番通報で、目の前に火災や事故現場があっても、今の場所が説明できないという事です。

ここまで、色々愚痴のような話になってしまいましたが、明るい話題と言えば、今の若い職員は本当に頭が切れますし、運動もできて向学心も高いです。ただ、ひとつ言わせてもらおうと、賢いが故に「世渡り」が下手、そして「知識はあるが意識が低い」、更には九州の方言らしいですが「レンコンを食う」という事が出来ないですね。「白か黒か」という答えしか持っていない若手職員も多いので、それを教えるのも私たちの仕事なのかな、とも思っています。皆さんもご存じのように、最近では叱ればパワハラと言われる時代ですので、一言で人を育てる、人材の育成と言っても、消防だけでなく、どのような組織や会社においても大変難しいことだと思いますが、「人は常に相手の期待に対し、もっとも敏感に反応する」ということだそうです。さらには、「ほんとうに出来が悪いやつだ」と思い続けると「出来の悪い人材」が出来上がり、そして、「なかなか出来の良い奴だな」と思い続けると「出来の良い人材」が出来上がるそうです。

今日の卓話、ほんとうに取り留めもない話になってしまいましたが、今後も、優秀な人材やスタッフを育てて、皆さんから望まれる消防を築き上げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。本日は、たいへん貴重なお時間ありがとうございました。

### ◆幹事報告

◎例会変更と休会通知

・美濃加茂RC・郡上長良川RC

◎3月の例会予定表配布

次例会のご案内 3月19日(日) 18:30  
「親睦例会・武芸川温泉」 3/14の変更  
担当：会長・幹事

\*\*\*\*\*  
例会：毎週火曜日 12:30  
例会場：岐阜県関市本町6-20 大垣共立銀行関支店2F  
事務局：岐阜県関市平和通7-10-25 アメリカ2F